



さいごまであきらめない!

年長恒例の油山登山を迎えた 31 日、朝から好天に恵まれ、子どもたちもニコニコ笑顔です。背中には、何が入っているのかしらと思わせるほどの大きなリュックです。担任の先生から、登山前の諸注意を聞き、いざ出発。バスの中は、期待と不安が入り混じった会話です。

登山道入り口から、一瞬ひやりとする木陰に入り、まさに、森林浴を楽しみながらの山登りです。最初は足取りが軽い子どもたちも、山道が続くと、お互いに手をつないだり、「ガンバレ、ガンバレ!」と、掛け声を掛けたりしながら登りました。年長さんを見ていると、とても小学校入学前とは思えないくらい頼もしく感じられます。山水を触れるところで小休止。子どもたちは、心地よい冷たさを体感し、大満足の様子でした。さあ、ここからは、若干、勾配のきつい山道を登っていきます。

途中、下山される数人の方に出会うと、さすが、筑女幼稚園の子どもたちです。笑顔で、山の礼儀である挨拶を「コンニチハ」「オハヨウゴザイマス」と交わり、気持ちの良い爽やかな光景を見ることができました。下山される方からも「素敵なお挨拶ね」「かわいい挨拶ね」と、お褒めの言葉をいただき、園長としてとても嬉しい気分になりました。

目的地近くの長い階段では、疲れが見えたのか、歩みが遅くなりましたが、出発前に、担任の先生が、一人ひとりの子どもたちの手の甲に書いた「さいごまであきらめない!」の言葉を口にし、自分を励ましながら最後の踏ん張りを見せました。担任の先生の励ましの言葉は、効果抜群であったように思います。

昼食時に、私がおにぎりとおかずを出したところ、「園長先生、今日は、おかずはだめなのよ」と子どもたちから教育的指導を受け、事前にプリントで確認していなかったことを恥ずかしく思いました。休憩時間に展望台へ行き、博多湾を臨むと、「僕の家が見える!」「どこ?」「福岡タワーの横!」という会話も聞かれました。よく見えるものです。帰園して、保護者の方に場所を尋ねると、間違いないということでした。改めて、その子どもの地理的感覚の鋭さに感心したものです。

目的地には、自然観察センターもありますので、親子でハイキングを楽しんでみては如何でしょうか。



幼稚園のびわが鈴なり

幼稚園には、年中の学級名の基になった 2 本のびわの木があり、毎年園児の舌を楽しませてくれます。日当たりの悪い枝を切り落としたことで、少し大きめのびわが鈴なりに実りました。運転手のお二人と私の 3 人でびわを収穫しましたが、一人の年少さんが、私たちを終始応援



してくれたお陰で手抜きができず(?) 無事に、熟したびわを園児数以上に収穫することができました。当然ですが、びわ学級の子どもたちに、1 番最初に食べてもらいました。そして全ての子どもたちは、青沼先生が腕を奮って作った甘〜い、甘〜い「びわジャム」をクラッカーの上に乗せ、びわの美味しさを楽しみました。

子どもたちの多くから「甘かった」「おいしかったー」「もっと食べたい」という声が聞かれ、来年は、もっと大きくて甘いびわを収穫できるように、枝の切り落としの時期を考えたいと思いました。

らいおん組の活動再開

年少クラスのお父さん方を新たなメンバーとして迎え入れ、今年も「らいおん組」の活動が始まりました。年度初めの活動とあって、活動内容



が多く、大活躍して頂きました。最初に力仕事が必要なプールの組立てからです。頼もしい女性職員が多いとはいえ、プールの組み立ては、さすがに女性にはできません。予定した時間より短い時間でセットできました。次に、ロータリーの花の植え替えと坂道の雑草の刈り取りです。久しぶりに鍬や鎌、刈り込みバサミを持たれたようで、腕をもみもみの活動でした。きっと、翌日、手足がこわられたことと思います。全員揃ったところで、一人一鉢の寄せ

植えづくりです。どの花をどこに植えると目立つか、見栄えがいいかなどと考えながら楽しく活動して頂きました。参加していた子どもたちにも、寄せ植えを楽しんでもらいました。月曜日に、お子さんと一緒に登園されたお母さんが、お父さんが植えた鉢の前でお子さんをパチリ。いいですね。